

☆JAXA・やまぐち宇宙教育推進事業☆

☆活動レポート⑤☆

山口県教育庁
社会教育・文化財課
2020年1月12日

1月12日（日）山口県セミナーパークにて、「第2回 大人版宇宙の学校」を開催し、受講生19名が参加されました。今年度の活動の締めくくりとしての研修会であり、全3回の「宇宙の学校」にボランティアスタッフとして活動してきた皆さんからは、経験を活かした意見が活発に交わされました。

☆グループ演習「アウトフット宇宙教育」☆

今回の演習では、山口県における宇宙教育を様々なシチュエーション（自然の家・イベント・放課後子ども教室・公民館活動）で行うと仮定して、自分たちで内容の企画立案を行いました。今までは、宇宙教育を実践するまでの様々な「壁」を感じている受講生も多かったのですが、グループで協力してアイデアを出し合い、具体的な企画をつくっていったことで、自分たちでも実践の場を創造できそうだと、実現の可能性を感じていました。受講生からも、「宇宙教育を様々な場所で実践したい」、「今回企画したものは、どれもワクワクドキドキするもので、子どもたちの反応を近くで見たい」、「少し自分から動いてみて、地域の幼稚園や公民館でもやってみよう」という声が上がりました。



☆特別講義「クローズアップ宇宙教育 in やまぐち」☆

効果的なアウトプットのためには、良質なインプットが大切であるということで、午後からの講義では、山口大学 時間学研究所の所長である藤澤 健太 氏をお招きして、「クローズアップ宇宙教育」と題した「山口県・山口大学と宇宙の関係」や「ブラックホールの撮影に関わった秘話」など、最新の宇宙事情についてご講義いただきました。難しい内容をしっかりと噛み砕いて説明してくださり、受講生からのたくさんの質問にも丁寧に応えていただき、「大人版宇宙の学校」に相応しい「大人の学び」が満載で、たいへん有意義な時間となりました。

☆「宇宙の学校」・「大人版宇宙の学校」を終えて☆

受講後のアンケートの中には、「来年度も参加したい」、「宇宙教育講座を自分で主催してみたい」、「今後もスタッフとして関わりたい」という意見も多く、受講生の意識の高さを感じることができました。県教委といたしましても、来年度以降も、受講生が学んだことを実践できる機会を設けたり、受講生同士が協力し合える体制をつくったりと、サポートの在り方を確立していきたいと考えています。「宇宙」を通して集まった受講生同士の出会いが、「点から線へ、線から面へ」とつながっていき、これからの山口県の宇宙教育が益々活発になっていくことを願っております。

